

## 試聴会・訪問記掲載

### 上新電機オーディオ試聴会 (2014.10.5)

#### —Lux D-06U および D-08U の試聴—

#### 1. はじめに

ジョーシン日本橋1ばん館オーディオ試聴会で開催されたLux D-06U および D-08U の試聴会に行ってきました。

#### 2. 試聴会の進行

まず最初に D-06U および D-08U その他の使用機器の説明、今回使用できなかった新製品のアンプの紹介などがあり、順次 D-06U および D-08U を使って、CD、SACD および USB 入力からのデジタルファイルの再生を行っていききました。

使用機器は、D-06U および D-08U の他は、スピーカーがソナス・ファベールのオリンピックカ、プリアンプが C-900U、パワーアンプが M-900U で、PC は Mac が使用されました。



D-06U および D-08U の仕様・機能は下記に記載があります。

<http://www.luxman.co.jp/product/d-06u>

[http://www.luxman.co.jp/product/d-08u\\_2](http://www.luxman.co.jp/product/d-08u_2)

試聴は技術的な解説を交えながら、その効果を確認するもので、CD でもオーバーサンプリングをかけており、それは DAC チップに委ねるのではなく、オーバーサンプリングのプロセッサーを前段において DAC チップは DA 変換のみを実行するようにしているとのことで、確かにステレオサウンドが製作したアナログマスターからリミッターなしに CDR に焼いたものなどは CD としては秀逸のリアルさが出ていました。これ以外に良かったのはアナログマスターから AD コンバーターを通して DSD にし

たもので、やはり元音源のクオリティが重要であることが分かりました。  
これらに対し市販の CD や SACD の音質は平凡で、これだけ聴いているとこのような高価なプレイヤーが必要なのかと疑わせるところもありました。  
D-06U と D-08U の違いは、アナログ部のバッファアンプが前者はオペアンプであるのに対し、後者はディスクリートで組んだものだとのこと、同じソースをかけるとはっきり分かくらいのバッファアンプ構成の効果がありました。  
この種の試聴会では珍しく大編成オーケストラの曲も 3 曲ほどかけてくれましたが、SACD、CD、アナログマスターから起こした DSD 音源ともすこし納得がいかないものでした。このことは、オーケストラの再生が難しいことを反映しており、綿密な調整抜きでぶっつけでいきなりフェアの会場や販売店の試聴室で再生しても調整不足を免れないことだと思われます。  
USB 入力の DAC での DSD の再生は Mac から DoP で送り出されていましたが、Lux のプレイヤーソフトも準備されていて DSD Native にも対応しており、さらにドライバーだけを使えば、foobar2000 などでカスタマイズした再生も可能とのことでした。

以上